

国際理解出前講座

カンボジアの子どもたち ～国際協力って何？～



9月11日（金）、高岡小学校の6年生を対象に、国際理解出前講座「カンボジアの子どもたち～国際協力って何？～」を実施しました。講師は、カンボジアの日本語学校を長年にわたって支援し、姫路市や姫路市周辺でカンボジアに関する講座を行ってこられた山口文代さんです。



<カンボジアの学校の様子>

講座は、まずカンボジアで話されているクメール語での挨拶から始まりました。クメール語の0から10までの数の数え方がとてもユニークで、子どもたちは楽しく声を出して復唱していました。

その後、カンボジアの概要や有名な遺跡「アンコールワット」についての紹介がありました。メインのお話は、内戦の間に残されてしまった地雷とその被害を受けて手足をなくした人々のこと、そして山口さんが活動してきた井戸の寄付活動などについてです。

幼い子どもが厳しい生活を強いられる現実を知って、児童の皆さんも真剣に聞き入っていました。

～生徒の感想文より～

- ・一番こわいなと思ったのは、地雷です。それと、一つ300円で人間の命が奪われるのがつらい。
- ・山口先生が言っていた「学んだ知識は盗まれない。」ということに共感しました。
- ・戦争や内戦がはやくなくなってほしいと思った。

